

1. 水稻品種「じょうでき」・「まなむすめ」の乾田直播栽培への適応性

福島県農業試験場相馬支場・平成9～11年春夏作成績概要

1 部門名 水稻－水稻－品種－水稻直播

01-01-01750000

2 担当者 木田義信・半沢伸治

3 要 旨

平成9年に奨励品種となった「じょうでき」・「まなむすめ」の乾田直播栽培への適 応性を検討した。

- (1) 「じょうでき」・「まなむすめ」は出芽が良好で、出芽揃期は「ひとめぼれ」より「じょうでき」で5日、「まなむすめ」で3日程度早い。両品種とも播種～出芽期間が低温年でも苗立ち数が容易に確保できた。
 - (2) 冷夏年(平成10年)でも「じょうでき」は8月上旬に、「まなむすめ」でも8月中旬に出穂した。両品種とも「ひとめぼれ」より出穂期・成熟期が早かった。
 - (3) 「じょうでき」・「まなむすめ」とも「ひとめぼれ」より収量性に優れた。「まなむすめ」は「ひとめぼれ」より登熟歩合が高く、品質も良かった。
 - (4) 「まなむすめ」は出穂期の一穂当たりの茎重が「ひとめぼれ」や「じょうでき」に比べて重いという特性があり、倒伏が少なく、登熟歩合が高い一因になっていると推察された。
- 以上のことから、「じょうでき」と「まなむすめ」は「ひとめぼれ」より乾田直播栽培に適する品種であるといえる。